

2006 年度前期 貿易論 期末試験

〔第1問〕

以下の問題より2問を選択し6～7行程度で論述しなさい。解答は、解答用紙に記述すること。(1問10点)

- (1) WTOにおけるFTAの取り扱いについて
- (2) ドーハラウンドについて
- (3) インコタームズとFOB、CIFについて
- (4) 近年の日本の国際収支の特徴について
- (5) フェアトレードについて

解答用紙には選択した問題番号を記述すること。

〔第2問〕以下の条件の時A国の絶対優位財、比較優位財は何か。また、その根拠を示しなさい。(1問10点)

(1)

単位時間あたりの生産量

	X財	Y財
A国	5	8
B国	8	4

(2)

単位生産あたりの労働時間

	X財	Y財
A国	3	6
B国	4	8

〔第3問〕以下の語群から、5つ以上の用語を用いて、論述しなさい。

(40点)

なお、必ずテーマを明記し、使用した用語には下線を引くこと。論述にあつたて図表を用いても良いが、箇条書き、単なる語句説明は不可とする。(解答用紙は学部指定のものを使用すること)

(語群)

貿易収支 市場の不完全性 労働価値説 債権国 企業基準 規模の経済 裁定取引 外貨準備 世界銀行
 取引コスト 所得収支 実需 トリガー価格 プラザ合意 居住性 労働集約財 購買力平価 共同市場
 内部化理論 重商主義 経常収支 国際分業 原産地規制 移転価格 公共財 要素賦存 並行輸入 寡占
 信用状 企業特殊的優位性 実効関税 通貨統合 貧困 南南問題 日本回帰 棲み分け インボイス
 スーパー 301 条 ホスト国 市場アクセス アームスレングス価格 ブレトンウッズ体制 Jカーブ効果
 コース ライセンシング ハイマー リカード パラダイム タックスヘブン ニクソンショック トロン
 アライアンス ステークホルダーズ アングロサクソン ネットィング マス・カスタマイゼーション
 NTB AD PLC AFTA LDCs TRIPS MNE FDI IMF CSR BRICs